



# 決算説明会資料

2010年3月期第2四半期



株式会社ニレコ  
証券コード：6863

## ～ 目 次 ～

2010年(平成22年)3月期第2四半期

決算の概要

P . 3 ~ 12

今期業績見通し

P . 13 ~ 26

配当政策

P . 27

## 2010年3月期第2四半期

### ～ 決算の概要 ～

- 受注高は前年同期比27.5%減、売上高は同24.6%減に
- 検査機事業が2009年3月期の後半から堅調を維持、プロセス事業及びウェブ事業が大幅に前年同期実績を下回った
- 売上高の減収幅が大きく、営業損失の結果となった
- 米国連結子会社の売却整理に伴う特損計上などにより四半期純損失169百万円

## 損益計算書の概要

(単位：百万円)

	当第2四半期(09/9)		前第2四半期(08/9)		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	2,994	100.0%	3,970	100.0%	975	24.6%
売上総利益	889	29.7%	1,413	35.6%	524	37.1%
販売費及び 一般管理費	1,052	35.1%	1,226	30.9%	173	14.2%
営業利益	162		187	4.7%	350	31.6%
経常利益	162		217	5.5%	379	174.7%
当期純利益	169		242		73	
設備投資額	41	1.4%	161	4.1%	120	74.3%
減価償却費	80	2.7%	88	2.2%	7	8.5%
研究開発費	448	15.0%	554	14.0%	105	19.0%
一株当り利益	23円16銭		26円62銭			

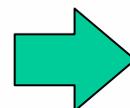
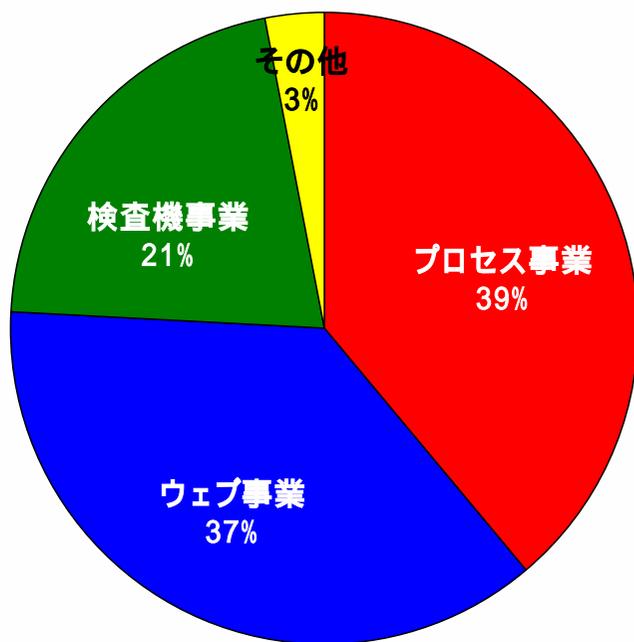
## セグメント別受注及び売上の状況

(単位：百万円)

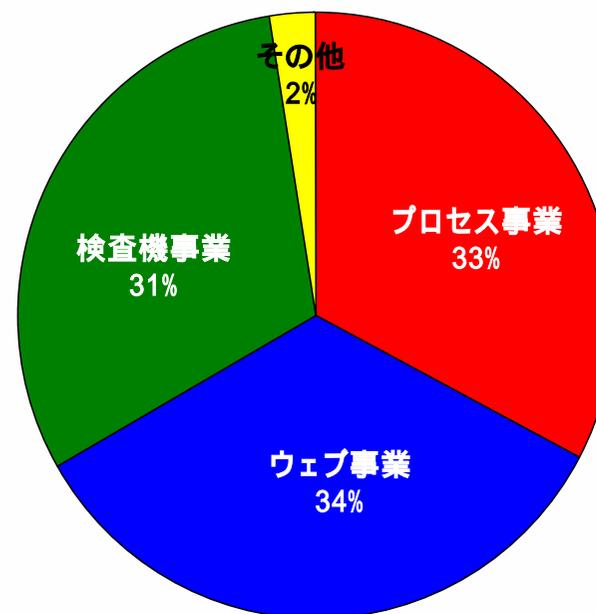
	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	1,013	35.7%	984	36.3%	1,656	3.9%
ウェブ事業	976	29.4%	1,009	31.1%	293	47.6%
検査機事業	759	19.4%	928	11.4%	328	36.7%
その他 (近赤外分析など)	113	8.0%	71	43.5%	43	93.9%
合計	2,862	27.5%	2,994	24.6%	2,322	13.8%

## セグメント別の売上構成

2009年3月期第2四半期



2010年3月期第2四半期



## セグメント別受注及び売上の計画対実績

(単位：百万円)

	受注高			売上高		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
プロセス事業	1,200	1,013	84.4%	950	984	103.6%
ウェブ事業	1,100	976	88.7%	1,100	1,009	91.7%
検査機事業	800	759	94.9%	800	928	116.0%
その他 (近赤外分析など)	100	113	113.0%	50	71	142.0%
合計	3,200	2,862	89.4%	2,900	2,994	103.2%

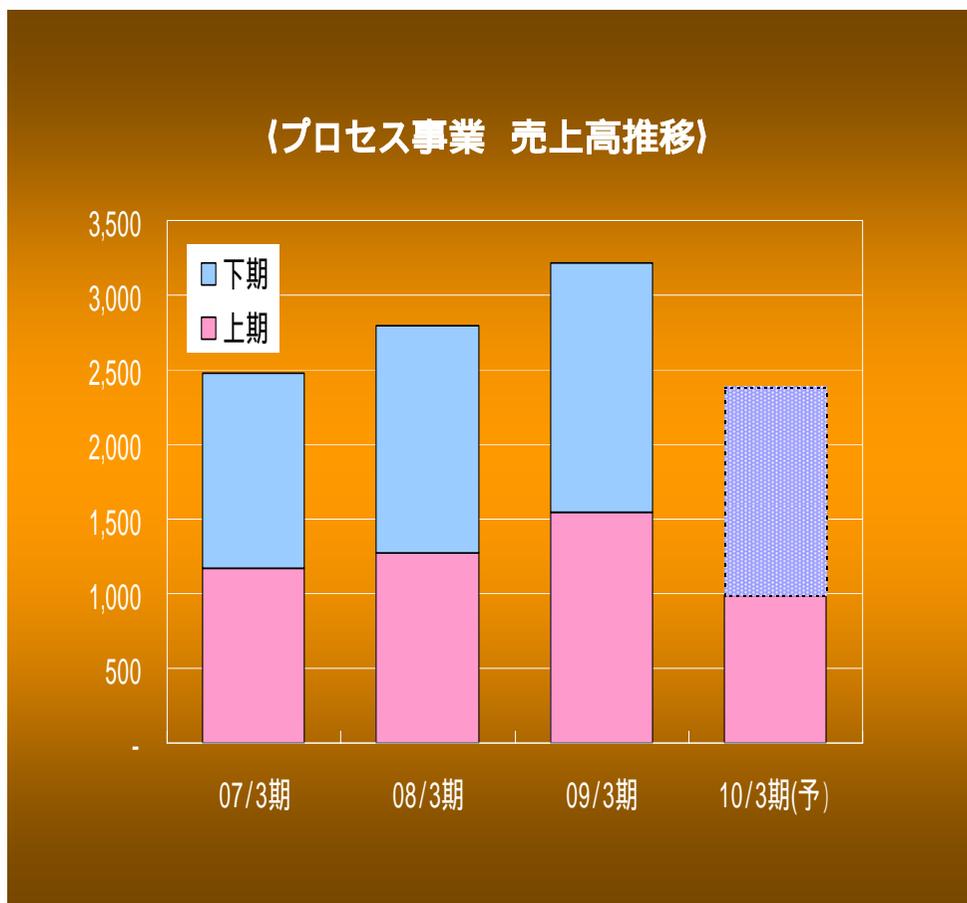
## プロセス事業の概況

国内鉄鋼業界は新規設備計画がストップ、海外は中国やインドの案件に熾烈な争奪戦。納期の延長や消耗品の購入抑制により、事業全体では、受注が前年同期に対して35.7%減、売上が36.3%減

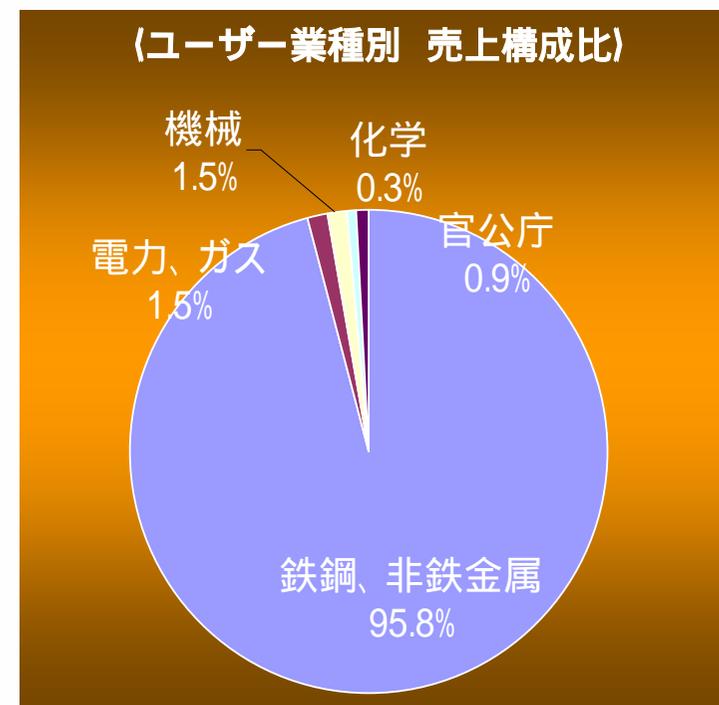
(単位：百万円)

売上高	984
営業利益	95

〈プロセス事業 売上高推移〉



〈ユーザー業種別 売上構成比〉

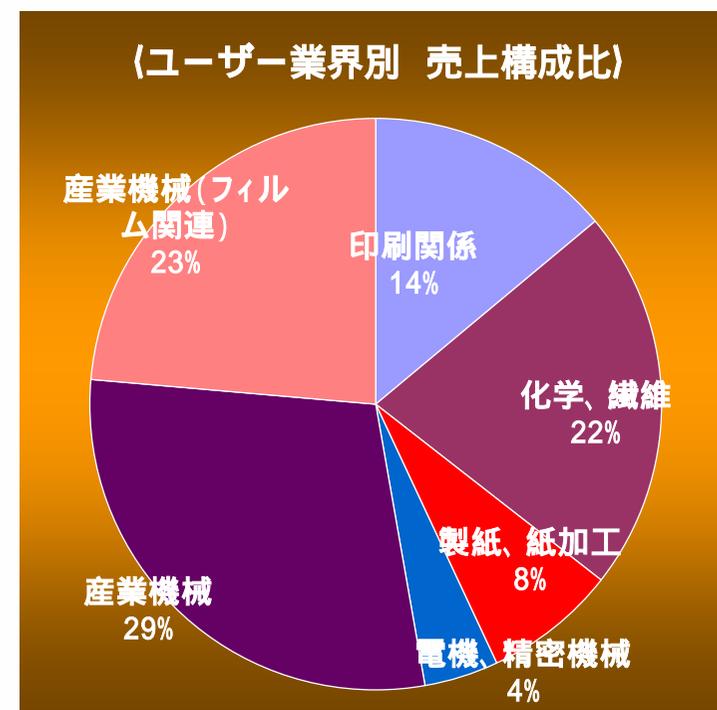
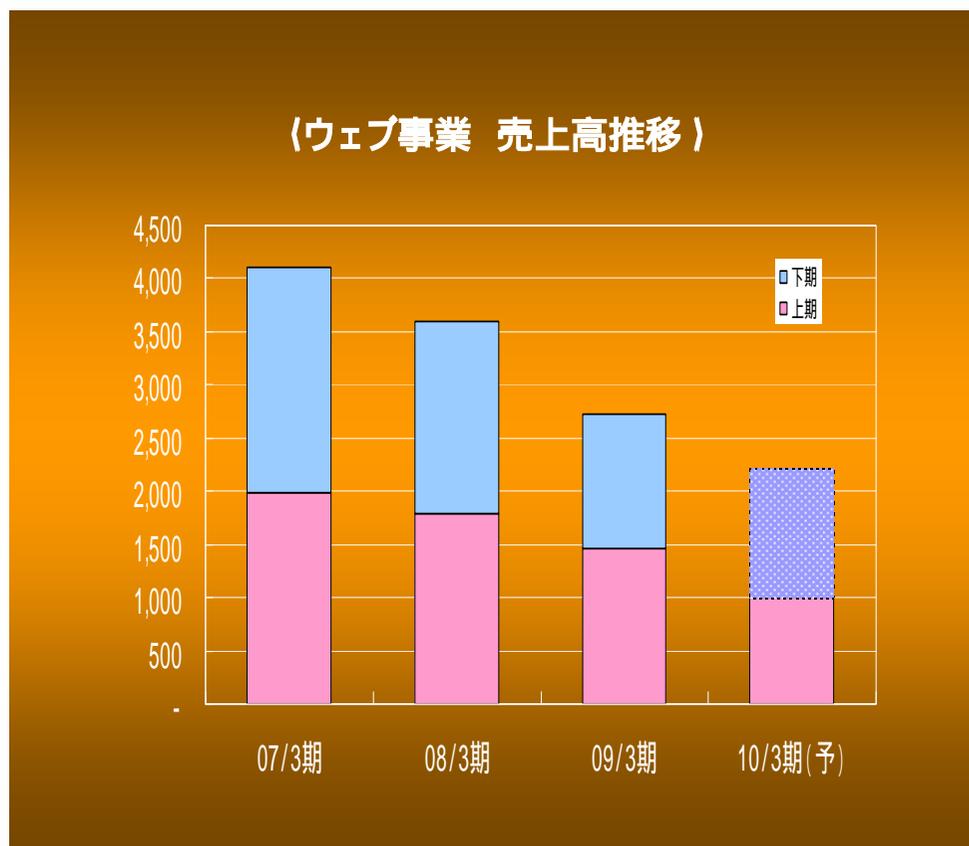


## ウェブ事業の概況

FPD関係の在庫調整は進み高機能フィルム向け制御装置の売上減少傾向は底を打ったが、設備投資は弱い、燃料電池の引き合いは多いが伸びは今ひとつで、反転回復には至らず。事業全体で、受注は前年同期に対し29.4%減、売上は31.1%減

(単位：百万円)

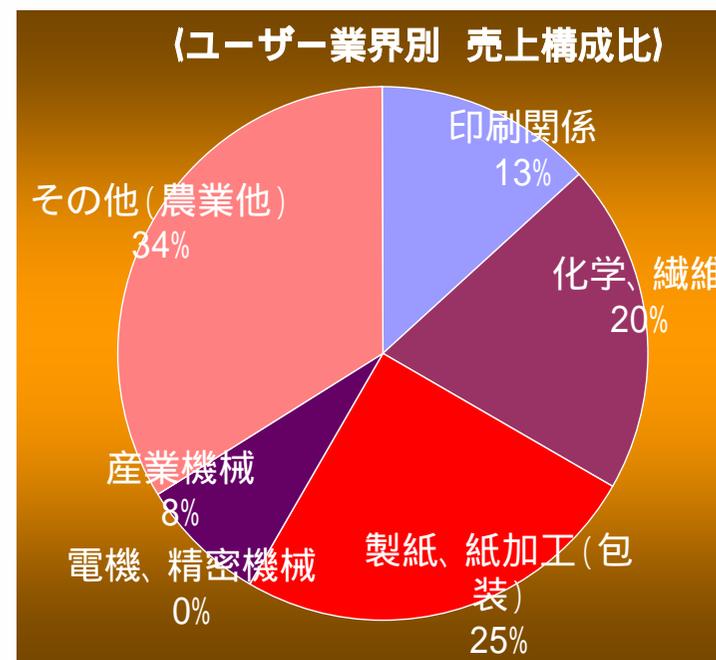
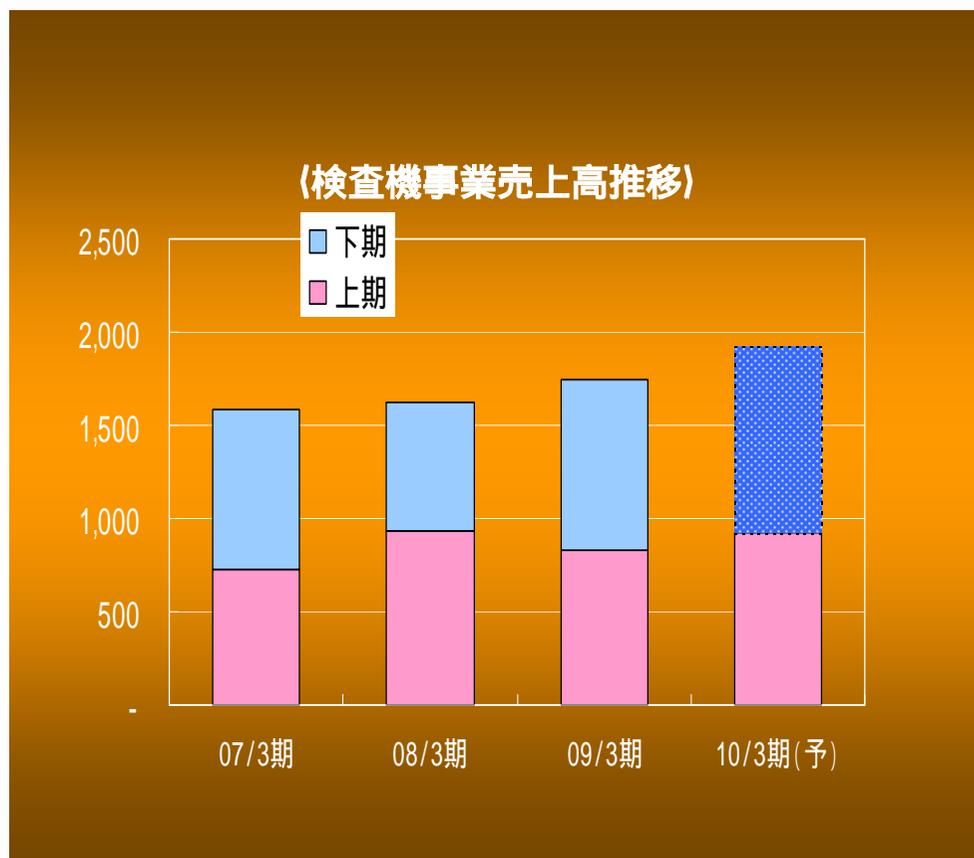
売上高	1,009
営業利益	85



## 検査機事業の概況

印刷品質検査装置は、BCON3000plusが食品包装の更新需要を掴み好調を続ける。青果物検査装置が大きく伸びた。無地検査装置はフィルム関係の引き合いが減少により売上が前年同期を下回った。その結果、事業全体の受注は前年同期に対し19.4%減、売上は11.3%増

売上高	928
営業利益	9



## 貸借対照表の概要

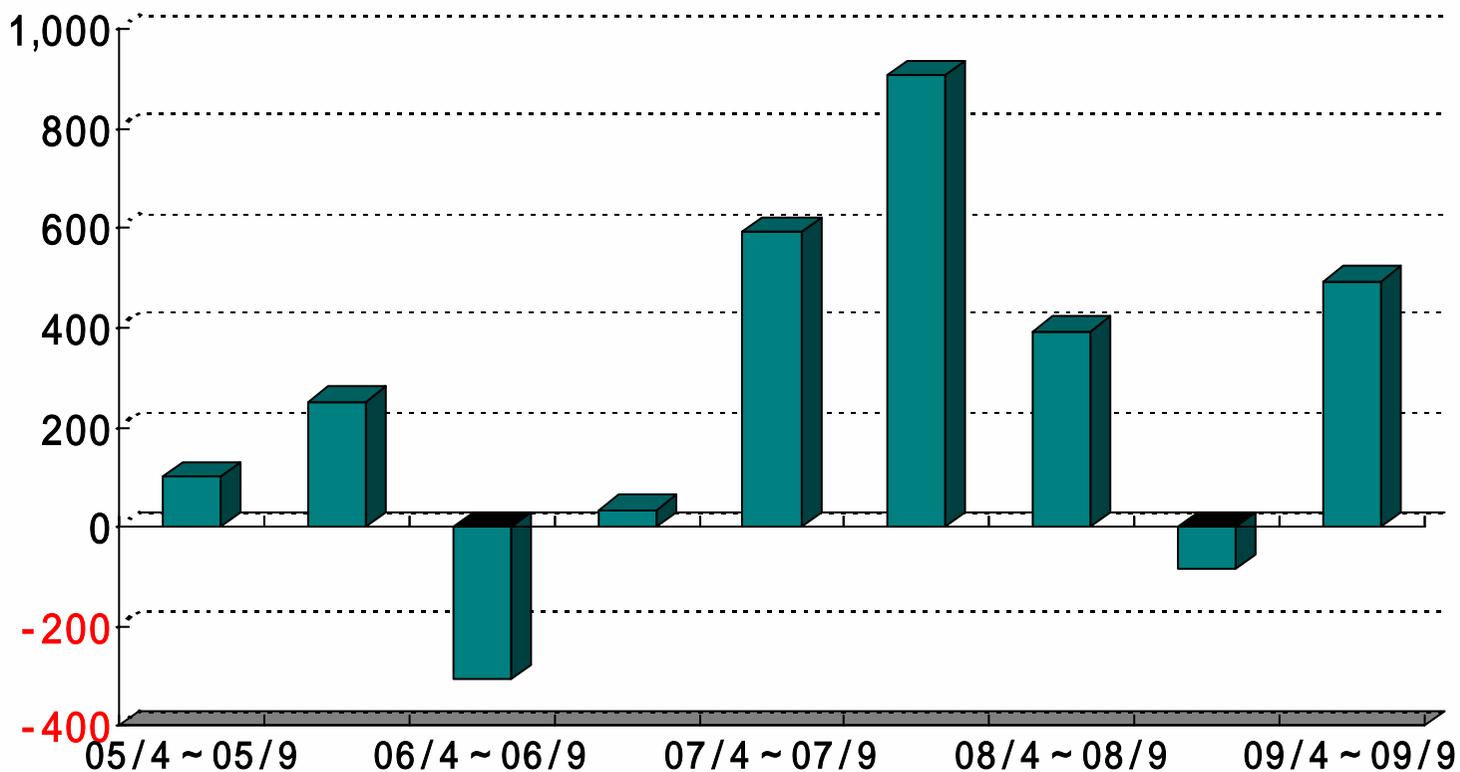
(単位：百万円)

	当10/3第2四半期末		09/3期末		増減 (1)-(2)	備考
	金額(1)	構成比	金額(2)	構成比		
現金預金	3,051	26.8%	2,438	21.1%	613	売掛債権の回収による 回収促進
売上債権	2,398	21.1%	3,139	27.2%	741	
有価証券	96	0.8%	130	1.1%	34	
棚卸資産	2,078	18.3%	1,957	16.9%	121	
その他流動資産	355	3.1%	407	3.5%	52	
<b>流動資産計</b>	<b>7,980</b>	<b>70.1%</b>	<b>8,073</b>	<b>69.8%</b>	<b>93</b>	
有形固定資産	1,395	12.3%	1,441	12.5%	46	
無形固定資産	108	0.9%	124	1.1%	16	
投資その他の資産	1,905	16.7%	1,922	16.6%	17	
<b>固定資産計</b>	<b>3,409</b>	<b>29.9%</b>	<b>3,488</b>	<b>30.2%</b>	<b>79</b>	
<b>資産合計</b>	<b>11,389</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,562</b>	<b>100.0%</b>	<b>173</b>	
買入債務	308	2.7%	292	2.5%	16	
短期借入金	0	0.0%	9	0.1%	9	
その他流動負債	512	4.5%	568	4.9%	56	
<b>流動負債計</b>	<b>820</b>	<b>7.2%</b>	<b>870</b>	<b>7.5%</b>	<b>50</b>	
固定負債計	220	1.9%	273	2.4%	53	
<b>負債合計</b>	<b>1,041</b>	<b>9.1%</b>	<b>1,144</b>	<b>9.9%</b>	<b>103</b>	
<b>資本合計</b>	<b>10,206</b>	<b>90.9%</b>	<b>10,417</b>	<b>90.1%</b>	<b>211</b>	当期純損失、配当金、他
<b>負債純資産合計</b>	<b>11,389</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,562</b>	<b>100.0%</b>	<b>173</b>	

## フリーキャッシュフローの推移

売上債権回収の改善等により営業キャッシュフローが増加し、投資有価証券の売却等により投資活動によるキャッシュフローも増加した

(単位：百万円)



注)フリーキャッシュフロー(FCF) = 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー

## 今期業績の見通し

(単位：百万円)

	今期計画 (10/3)		前期実績 (09/3)		増 減	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)	金額	伸率 (%)
売上高	6,800	100.0	8,031	100.0	1,231	15.3
売上総利益	2,250	33.1	2,596	32.3	346	13.3
販売費及び一般管理費	2,220	32.6	2,391	29.8	171	7.2
営業利益	10	0.1	205	2.6	195	95.1
経常利益	30	0.4	38	0.5	8	21.1
当期純利益	0	0.0	1,056		1,056	
設備投資	100	1.5	203	2.5	103	50.7
減価償却費	180	2.6	188	2.3	8	4.3
研究開発費	900	13.2	1,058	13.2	158	14.9
一株当り利益			118.43			

## 受注及び販売の見通し

(単位：百万円)

	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	2,100	36.1%	2,400	25.4%	1,328	18.4%
ウェブ事業	2,000	17.2%	2,000	26.7%	326	
検査機事業	2,100	15.5%	2,000	15.6%	597	20.0%
その他 (新規ビジネス、 近赤外分析)	500	53.0%	400	14.0%	101	
合計	6,700	14.6%	6,800	15.3%	2,354	4.1%

### 国内市場の回復は来期以降の見通し

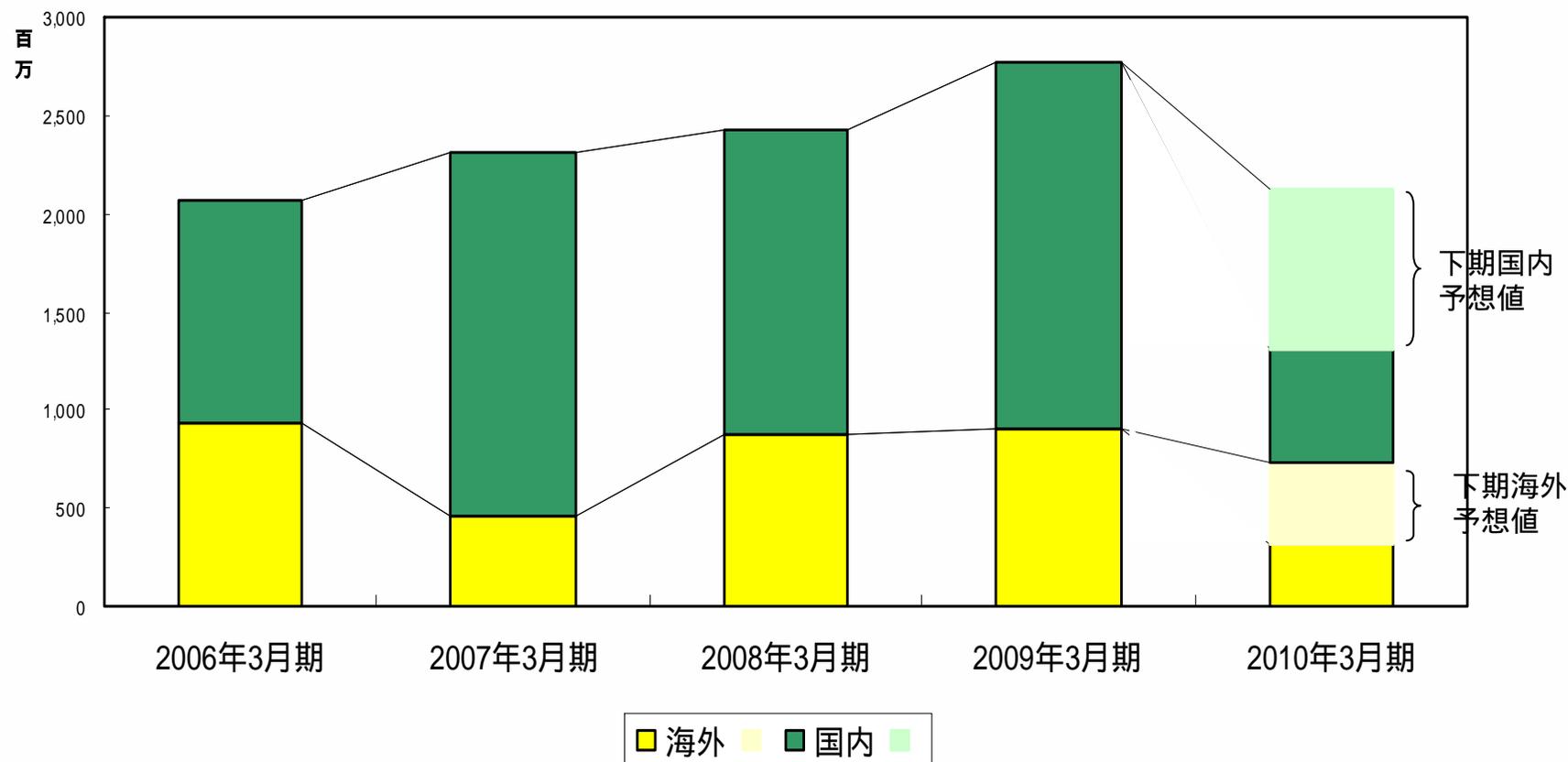
設備計画のストップ及びサービス、予備品の減少

国内鉄鋼メーカーの在庫調整は終息したが、需要環境が不透明なため、緊急以外の設備は消極的“動いているものは壊れるまで使う、壊れたらその時に何とかする”

**国内設備が動き出すのは来期以降**

### 海外市場は、中国、インド、ブラジル等は日本や欧米に比べて堅調

**競合の欧州メーカーも地元欧州市場が不調なため、この市場に注力の結果、競争が激化  
価格競争の様相(受注額、収益への影響)**



# プロセス事業

## 第3～4四半期の施策

国内で受注を洩れなく獲得するとともに、海外での受注獲得を重点的に活動

(国内) 設備の部分更新・部分改造を中心に漏れなく受注を獲得する  
ゴミ焼却炉、下水処理設備が更新期に入っているので公共予算の動きを注視し、更新需要獲得に努める

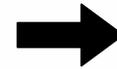
(海外) 専門商社との提携により新規設備案件の販売力を強め、受注に注力する  
製品コストダウンにより価格競争力を高める

耳端位置制御装置: システムのコストダウン、電磁波式炉内センサの量産化

自動識別印字装置: 中国での簡易型マーカ生産(試作が終了し、稼動に移行)

打刻マーカ、リーダー、高速ドットマーカ等のラインアップの充実

## 中国での自動識別印字装置試作生産について～工場完成



4月1日 基礎完了



5月21日 フレームの完了



5月25日 屋根とクレーン完了

## 中国での自動識別印字装置試作生産について～製作及び組立



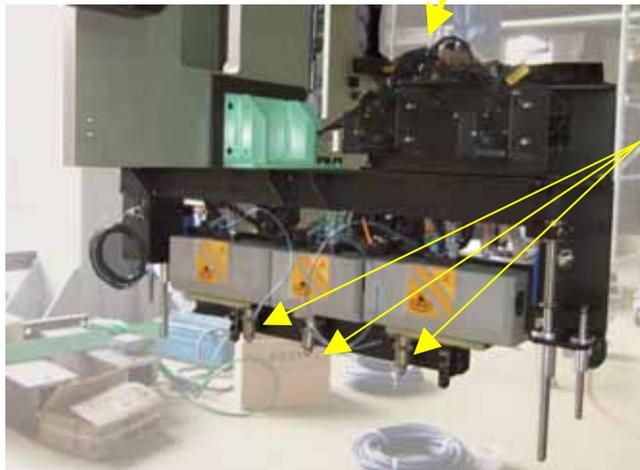
8月30日 主要部品の製作完成



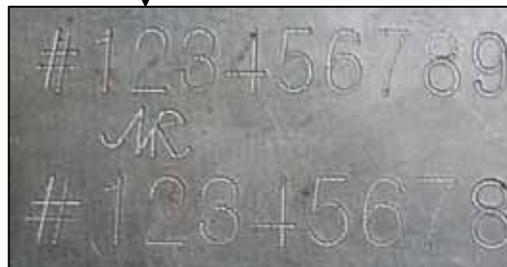
9月28日 機械本体と塗料ユニット完成

### 新製品 打刻マーカ

厚板の上面に打刻、端面に塗料による印字



3連の打刻エアピンにより厚板表面にデータを打刻する



レーザーマーカによる厚板端面への印字

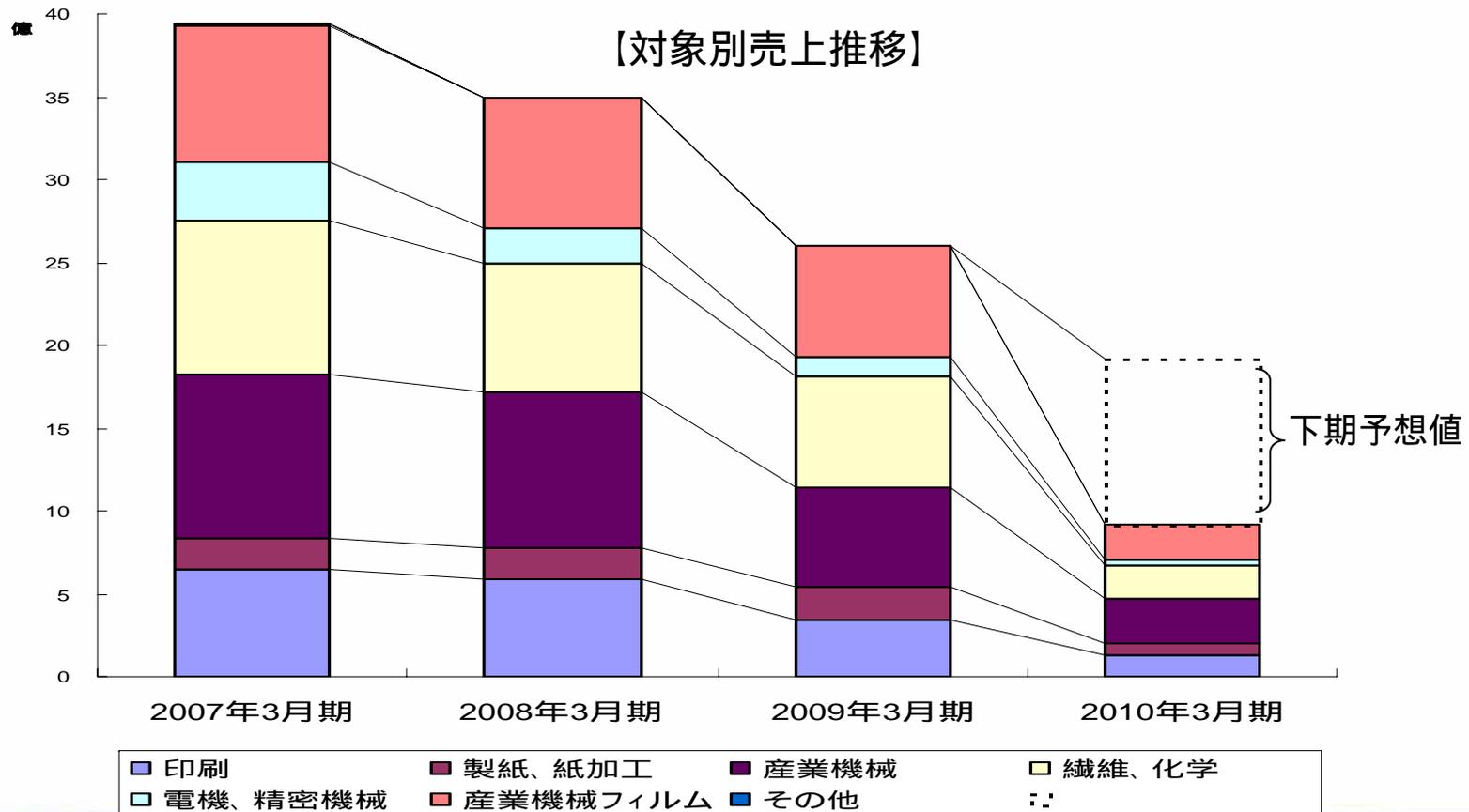


第1～2四半期の実績は期初の厳しい予想の範囲内

フィルム関係売上の遞減傾向が続く(大きい影響)      フィルムメーカーの在庫調整は終わった  
 印刷機メーカーへのOEM提供の低迷                      印刷機メーカーの大幅な生産調整が続く

受注件数では昨秋レベルに回復したが受注額の伸びは今ひとつ

フィルムメーカーでは将来に向けた設備計画が動き出した  
 コーター、スリッター等の関連機械メーカーの動きは未だ鈍く、フィルム向けは慎重な姿勢  
 中国、韓国では、パネル関係が強気の生産計画  
 電池関係は設備計画案件が動き始めたが、量産設備の本格稼動は未だ先か？  
 印刷関係は印刷機メーカーの生産調整が続く



# ウェブ事業

## 第3～4四半期の施策

(国内)

戦略型の新製品による更新需要の刺激と国内シェアアップを進める

新型テンション・センサMJシリーズ

小型EPCシステム 第4Q

この他にも遅れている開発を急ぐ



MJテンションセンサは、高機能プラスチックフィルムの生産に最適な高性能テンションセンサです

薄型テレビ、二次電池、薄くて軽い太陽電池、更に次世代の照明と期待される有機EL照明などの次代を担う産業に使用される高機能プラスチックフィルムの張力制御に欠かせないセンサです

(海外)

韓国販売体制の立て直し、上海拠点の中国での営業活動が動き出し、受注増を図る

韓国ではパネルメーカーの動きが活発化、また輪転機向け見当装置のニーズ開拓

中国へは中国仕様の電気式EPC、印刷向け制御装置

**印刷品質検査装置は好調に推移しているが、市場は停滞**

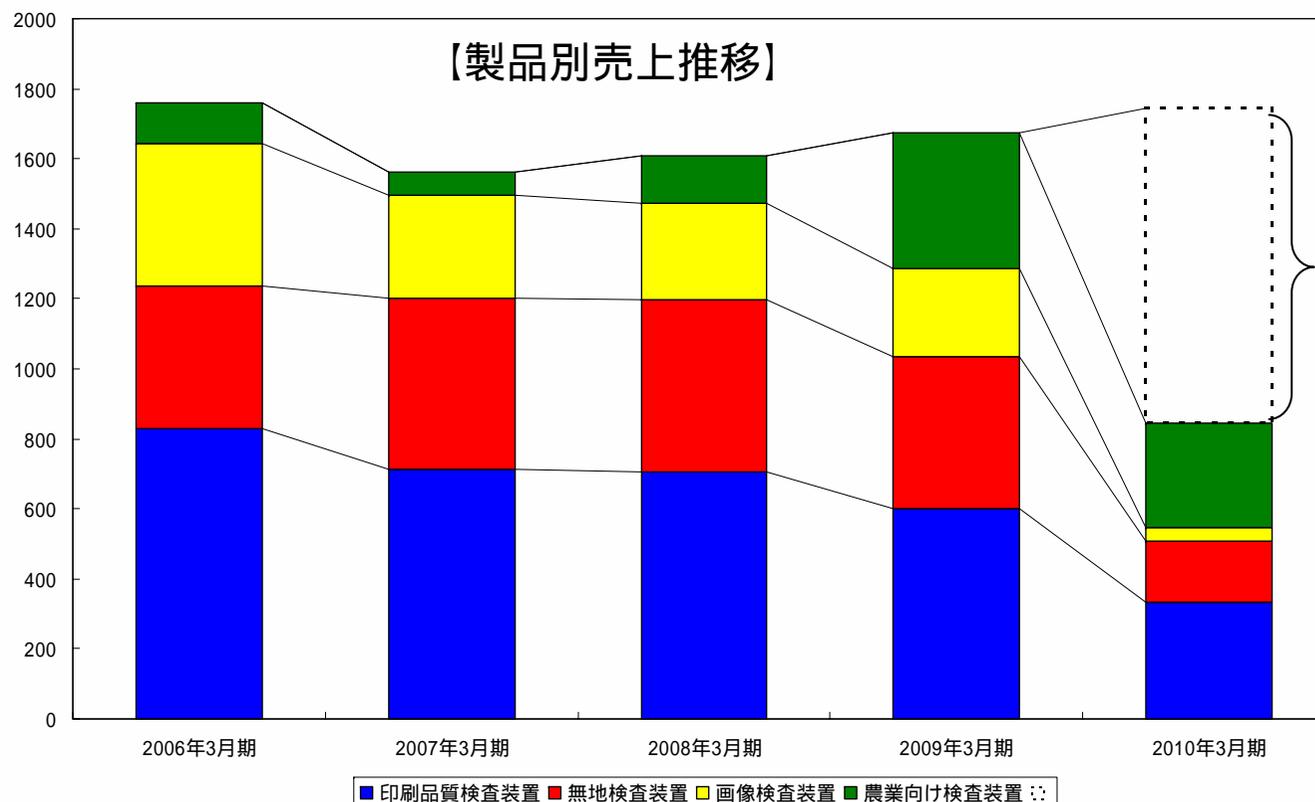
更新時に他社からの乗り換えでシェア奪取により売上を伸ばしている  
印刷は低迷、食品等の包装材で売上を伸ばしてきた

**無地検査装置は不振**

フィルム、電子部品関係は設備計画が止まり、案件を競合との争奪戦  
リチウムイオン電池、太陽電池、燃料電池関係の引き合いは増えている

**農業向け検査装置**

今期中にみかん選果場の設備更新が集中  
大手企業の農業事業参入が出てきている、新たなユーザーの可能性



# 検査機事業

## 第3～4四半期の施策

### (国内)

印刷品質検査装置は、新主力機BCON3000plusのラインアップで、好調な受注を続ける  
中小ユーザーには必要な機能を絞り込んだPRを進める

無地検査装置は、2次電池向けの電極シート欠点検査装置が完成し、電池業界を中心に  
営業活動を展開する。簡易型無地検はPRで知名度向上を進める

農業向け検査装置はみかん等の大型案件に注力する

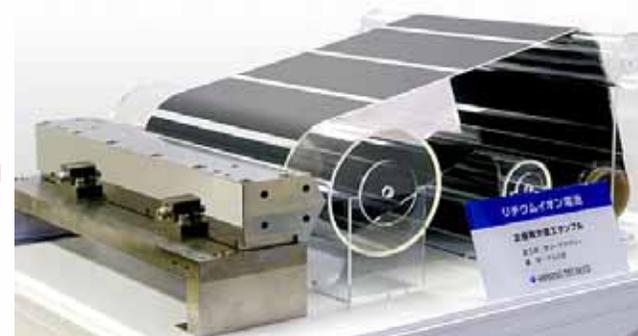
### (海外)

ニレコ上海でBCON3000plusの現地生産を開始

韓国での代理店再編成により検査機製品の販売強化

リチウムイオン電池の製造  
正極活物質や負極活物質を調合し、金属箔に活物質を塗布する  
正極材料、負極材料を裁断してセパレータと共に巻く  
缶ケースに挿入して、電解液を注入して密封する

【活物質の塗布工程の模型】



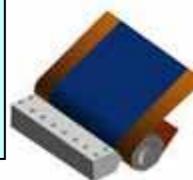
従来無地検査装置は全幅で均一な対象を検査



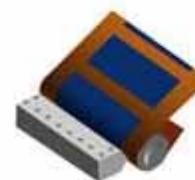
コーティングしてある部分とない部分があって、  
これらを別々に画像から認識して検査する

- それぞれの部分の無地(欠点)検査
- コーティングのパターンの欠点検査
- コーティングの表裏のずれ
- コーティングの長さや幅の計測

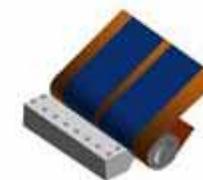
コーティングパターン



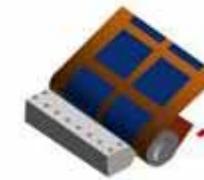
全幅連続



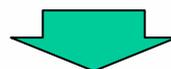
全幅間欠



ストライプ



間欠ストライプ



電池メーカーの検査ライン向けに期待

## 海外市場展開

海外売上高は連結売上高の約16%

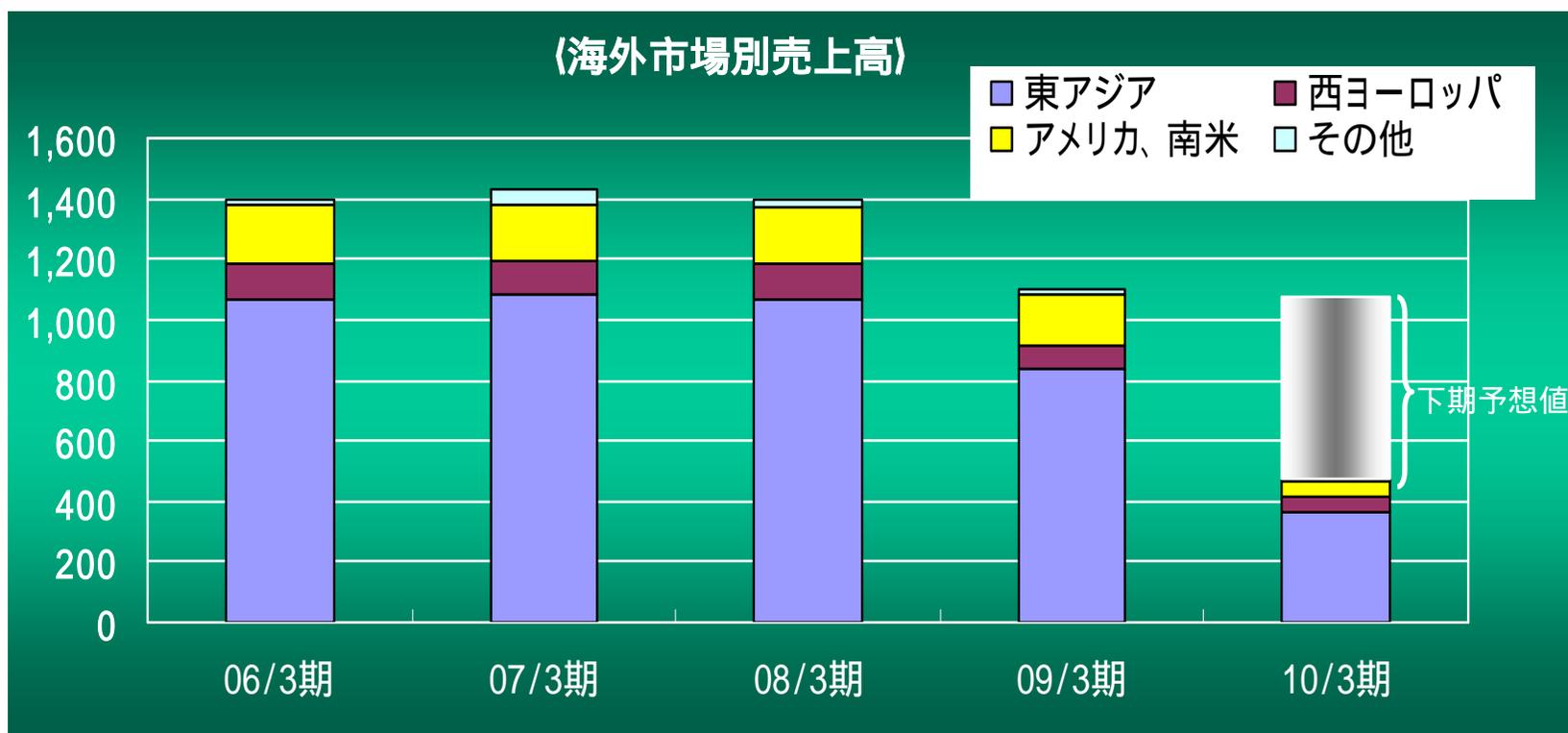
東アジア地区を主として海外拠点、サービス体制を強化

製品のコストダウンにより価格競争力を高め、性能・品質の優位性を生かす

中国でプロセス事業の自動識別印字装置を製作

商社と関係強化により海外販売体制のテコ入れ

韓国代理店の再編



〈現在の状況〉

〈施策〉

中国

鉄鋼関係の設備案件に世界中のプラントメーカーが殺到し、競争熾烈化。パネル関係の設備投資が活発。印刷関係では高品質の印刷への需要が起こっている



ニレコ上海工場で鉄鋼用マーカの試作完成、コスト競争力を高め高品質を武器に現地拡販、専門商社と提携で営業力強化。フィルム、印刷向けにウェブ製品と印刷品質検査装置BCON3000plusの現地生産を開始

韓国

鉄鋼関係は日本同様、設備投資抑制  
パネル・電子部品は輸出増により強気の増産  
印刷市場で日本同様の高品質への需要



代理店関係を再編成し、とくに、検査機製品の販売を強化

台湾

鉄鋼関係は日本同様、設備投資抑制  
パネル・電子部品に回復の兆候



台湾子会社は堅実に業績を積み上げている。フィルム印刷関係の制御装置を現地でライセンス生産し、競争力を高めている。

インド  
アジア

鉄鋼関係はインドの設備案件に世界中のプラントメーカーが殺到。東南アジアも好調



インドへは、プラントメーカー経由だけでなく、商社との連携で直接的な働きかけを強めている

北米  
南米

鉄鋼関係はブラジルで、設備投資の兆候  
印刷は日本との仕様の開き



米国の販売子会社との資本関係を解消し、今後は商社との関係強化により拡販を図る

欧州

景気低迷の影響は深刻  
印刷向け制御装置、検査装置の市場が一気に冷え込んだ

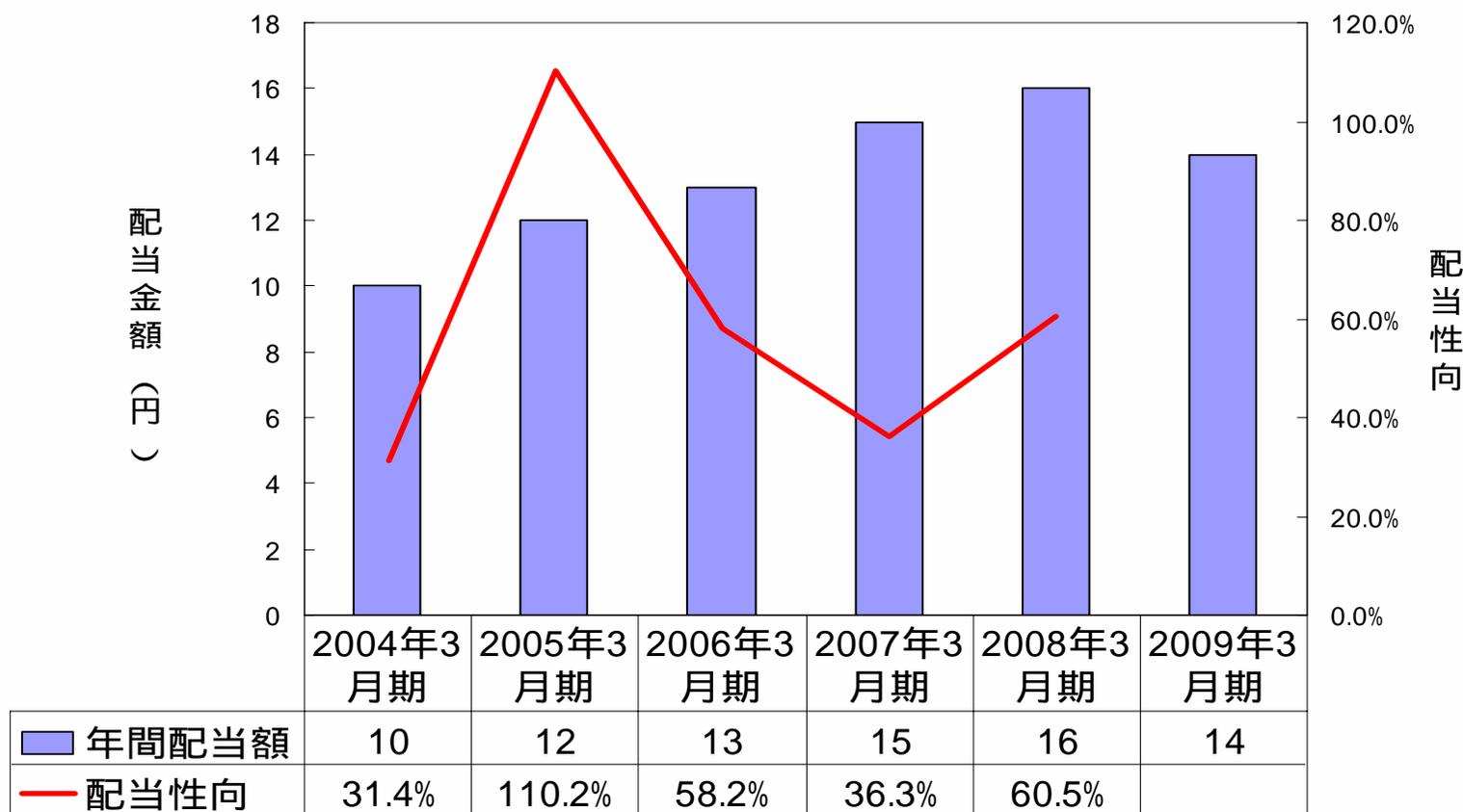


仏国子会社への営業テコ入れ

## ～ 配当政策 ～

安定配当を確保(配当性向35%以上を維持を原則)

2010年3月期の中間配当金は 6円 / 株



本資料に掲載されている、ニレコグループ(株式会社ニレコ及び子会社に関する記述の部分は、本資料の作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいております。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意下さい。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なる可能性があります。

## 連絡先

株式会社ニレコ 管理部門

担当:片山

: 042 - 642 - 3111

E-mail: [yasuo.katayama@nireco.co.jp](mailto:yasuo.katayama@nireco.co.jp)

住所 : 〒192 - 0032

東京都八王子市石川町2951 - 4

HP: <http://www.nireco.com/>